

平成26年6月7日

PROGセミナー

# 長崎大学の教育改革推進戦略

長崎大学 学長

片峰 茂

# 長崎大学の学士課程教育改革

平成24年4月

新しい教養教育の開始

教養教育科目のモジュール化

アクティブ・ラーニングの全面導入

平成26年4月

人文社会系新学部「多文化社会学部」設置

# 長崎大学の概要

## NAGASAKI UNIVERSITY

中規模地方総合大学



### 教育研究組織

(8学部+1)

教育学部  
経済学部  
医学部  
歯学部  
薬学部  
工学部  
環境科学部  
水産学部  
多文化社会学部  
(H26新設)

(6研究科)

教育学研究科  
経済学研究科  
工学研究科  
水産・環境科学総合研究科  
医歯薬学総合研究科  
国際健康開発研究科

(病院)

大学病院

(研究所)

熱帯医学研究所  
原爆後障害医療研究所

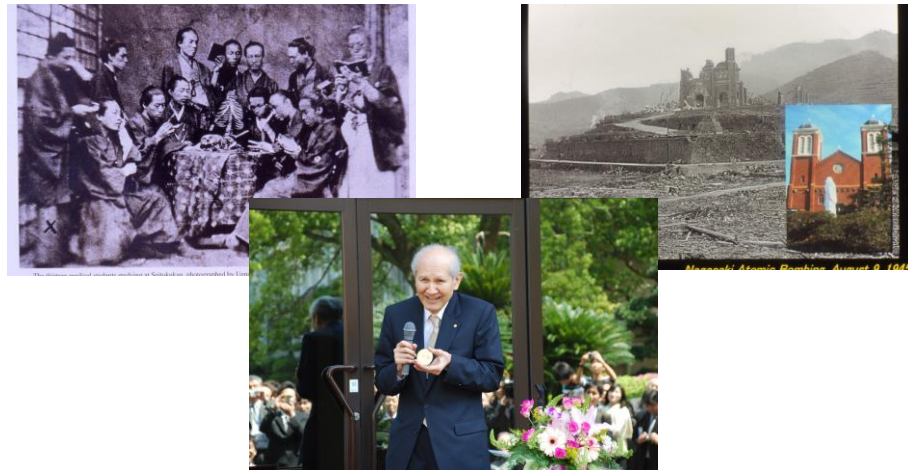
学生数: 9,121人 (H25.5.1)

学士課程 7,613人 大学院 1,508人

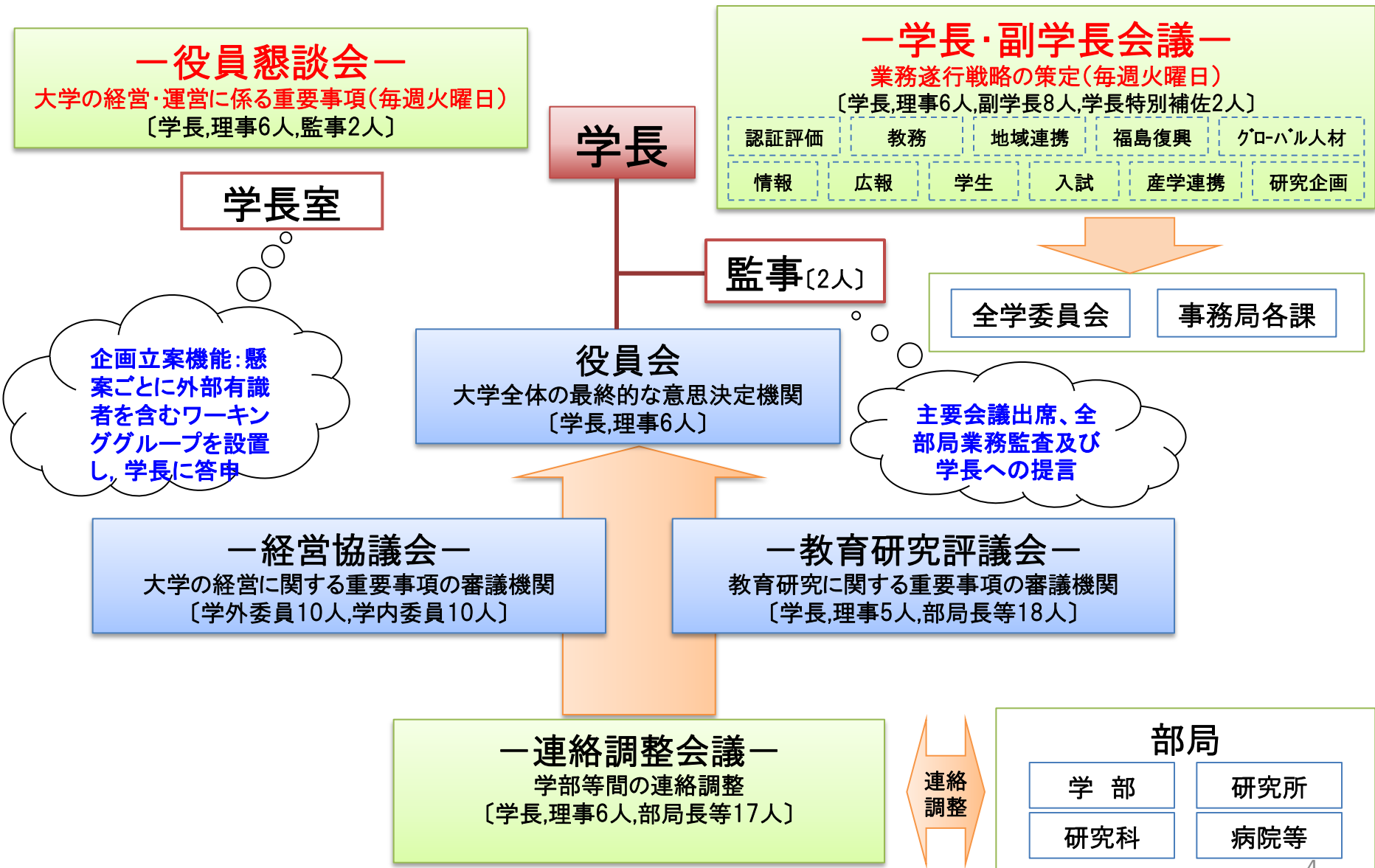
教職員数: 2,892人 (H25.5.1)

役員 9人、教員 1,189人

事務職員 455人、技術職員 1,240人



# 長崎大学のガバナンス体制



# 教養教育改革、新学部設置の経緯

**全学教育検討WG**  
(第1次教養教育WG)  
(H20.12～)



**新しい教養教育の具体像作成WG**  
(第2次教養教育WG)  
(H21.11～)



**教務委員会**  
新しい全学教育カリキュラム改善専門部会  
(H22.12～)

**新学部設置検討WG**  
(H22.9～)

**学長コメント (H21.9)**

- ① 学士教育共通理念の設定
- ② 長崎大学モデルの教養教育の創生
- ③ 教養教育に責任を持つ教員組織の形成

**学長コメント (H22.8)**

- “三位一体改革”
- ① 新学部構想
  - ② 既存3学部(教育、経済、環境科学)改革
  - ③ 教養教育改革

**学長コメント (H23.5)**

- ① 24年度から新教養教育の開始
- ② 人文社会系学部の創設
- ③ 経済学部にて特色的教育コース
- ④ 環境科学部カリキュラム改革
- ⑤ 教育学研究科の改組

**新しい教養教育開始**  
(H24.4～)

**多文化社会学部設置**  
(H26.4～)

**教育学研究科の教職大学院一本化**  
(H26.4～)

**経済学部国際ビジネスコース開始**  
(H26.4～)



# 教養教育改革、新学部設置の経緯

## 全学教育検討WG

(第1次教養教育WG) H20.12～

### ①学士教育共通理念の設定

\* 安西祐一郎博士(JSPS理事長、元慶應義塾塾長)

“法人化されて後も各国立大学には個性が見えてこない。未だ皆同じようにしか見えない”

\* 慶應義塾: “自立自尊”の人材育成理念

### ②長崎大学モデルの教養教育の創生

広く、浅くの教養教育から、質を保証する教育への転換

\* 石井紫郎博士(JSPS学術システム研究センター顧問)

“大学で学ぶべき教養とは、**学問のカタ**である”

### ③教養教育に責任を持つ教員組織の形成

## 新しい教養教育の具体像作成WG

(第2次教養教育WG) H21.11～

## “三位一体改革”

### ①教養教育改革

“教養教育科目のモジュール化”

LACS(主体的学修支援システム)の整備

### ②新学部構想

学生定員: **100名**(**経済90**、**環境科学10名** 拠出)

専任教員: **40名**(**経済9**、**環境科学5**、**教育4**など既存学部より**計21ポスト** 拠出)

### ③既存3学部(教育、経済、環境科学)改革

# 長崎大学の学士課程教育理念

## 長崎大学ブランド・グローバル人材の育成

地域の多様性の意義

“地域を掘り下げること、逆に国や世界が見えてくる”

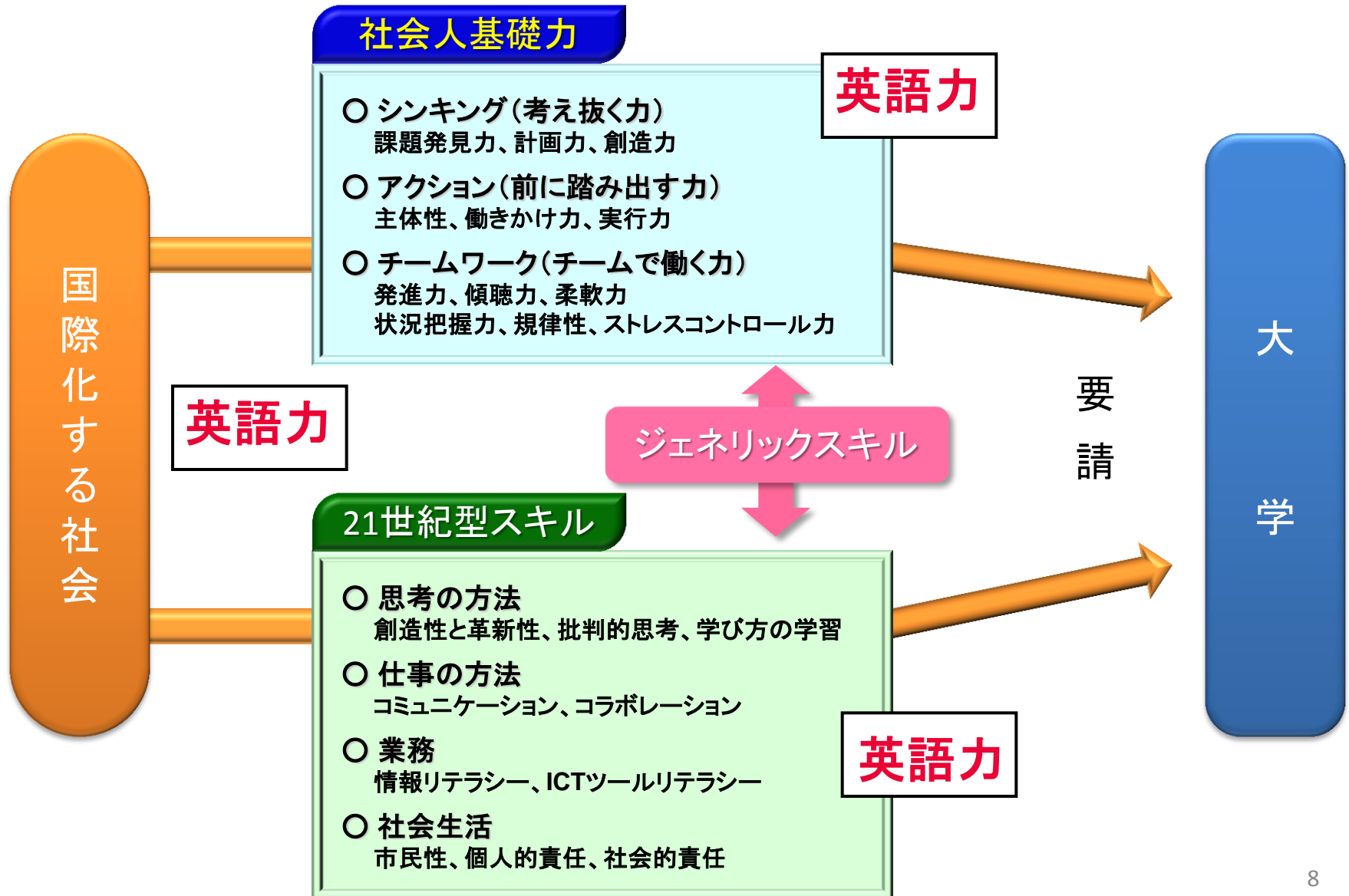
地域から世界へ飛翔するグローバル人材：

グローカリティを体現する人材

## 長崎大学共有学士像

- (1) 研究者や専門職業人としての基盤的知識を有する
- (2) 自ら学び、考え、主張し、行動変革する素養を有する
- (3) 環境や多様性の意義が認識できる
- (4) 地球と地域社会及び将来世代に貢献する志を有する

# 社会からの大学への要請





# 教養教育の目標

## 全学共有学士像

- ・研究者や専門職業人としての基盤的知識を有する
- ・自ら学び、考え、主張し、行動変革する素養を有する
- ・環境や多様性の意義が認識できる
- ・地球と地域社会及び将来世代に貢献する志を有する

## 育成すべき能力と態度

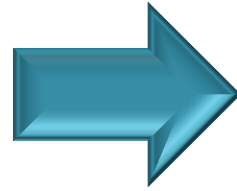
### ◎能力

- ・ものごとの本質を理解するための基本的な学習能力
- ・自主的に考え、発信する能力
- ・日本語及び英語によるコミュニケーション能力

### ◎態度

- ・学問を尊敬する態度
- ・学びを継続し自らを高め変革しようとする態度
- ・多様性を認め、相互に啓発し合う態度

# 全学教育



# 教養教育

**必修科目** ……12単位

**選択科目** ……18単位

---

計 30単位

**必須科目** ……14～18単位

**モジュール科目** …… 24 単位

全学モジュール …… (12) 単位

学部モジュール …… (12) 単位

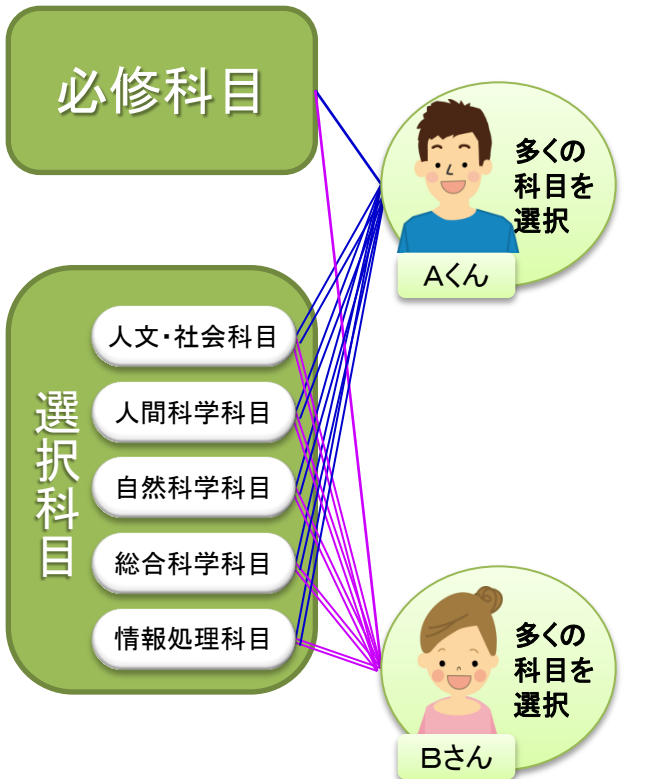
**自由選択科目** …… 2～4 単位

---

計 40～46単位

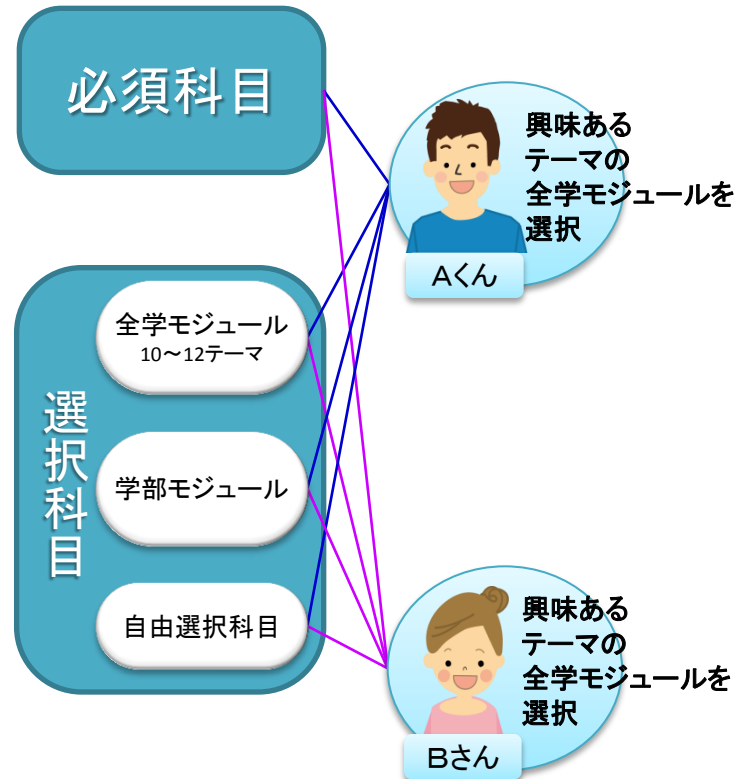
# 教養教育の改革

## 従来の全学教育



学生一人一人が科目を適切に選択し、それらを有機的につなぎ合わすことによって能力形成

## 新しい教養教育



興味あるテーマの全学モジュールを選択し、積極的に授業に参加すれば能力形成

## 目指すもの

### 基本的能力

- 基本的な学習能力
- 自主的に考え、発信する力
- コミュニケーション能力 (日本語・英語)

### 基本的態度

- 学問を尊敬する態度
- 自らを高め、変革する態度
- 相互に啓発し合う態度

学士課程教育に適應する  
基盤的能力・態度の育成

# モジュールの特徴

## モジュール

21世紀社会で求められる批判的精神や課題探求能力等の獲得を可能にする一まとまりの科目群を指し、一つのテーマを軸に構成されている。モジュールは次の二つに分類される。

### 全学モジュール

現代社会の課題をテーマとして取り上げ、それを多面的に学ぶとともに、その解決に向けた活動を行い、社会から要求されている能力の獲得やその基盤形成を行う。

### 学部モジュール

各専門分野での学びの基盤を形成し、高度専門職業人に向けた個の人間形成の基盤と専門分野の基本的な資質・能力の向上を図る。

# 全学モジュール例

## テーマ

安全で安心できる  
社会

責任部局:工学部  
連携部局:医歯薬/経済・教育/環境・水産

環境問題を  
理解する(A)

責任部局:環境科学部  
連携部局:工学・教育・経済・水産

健康と共生

責任部局:医・保健学科

現代の経済と  
企業活動

責任部局:経済学部

グローバル社会へ  
のパスポート

責任部局:留学生センター

## モジュールⅠ

○健康と医療の安全・安心  
○社会と文化の安全・安心  
○科学と技術の安全・安心

○地球温暖化を考える  
○水環境を考える  
○循環型社会を考える

○人の一生と健康  
○性の発達と健康  
○ハンディキャップ

○経済活動と社会  
○企業の仕組みと行動  
○経済政策と公共部門

○国際的視点に立った政治と法  
○国際的視点に立った経済  
○異文化理解

## モジュールⅡ

○医療とリスク管理  
○先端医療と安心安全  
○社会の安全安心  
○破壊事故とヒューマンファクター  
○エネルギーと資源の危機

○環境と倫理  
○環境とエネルギー  
○環境教育  
○経済活動と環境のバランス  
○海洋環境と海の生物多様性

○大学生の育児学  
○仕事と健康  
○老いと健康  
○青年期の健康増進  
○障害体験と支援

○国際社会と日本経済  
○地域社会と日本経済  
○企業行動と戦略  
○社会制度と経済活動  
○経営情報と会計情報

○企業の国際展開とその課題  
○国際機関の役割と実際  
○NPO・NGOの国際協力  
○経済及び金融のグローバルイゼーション  
○途上国支援と国際保健

安全・安心

環境

医療系

経済

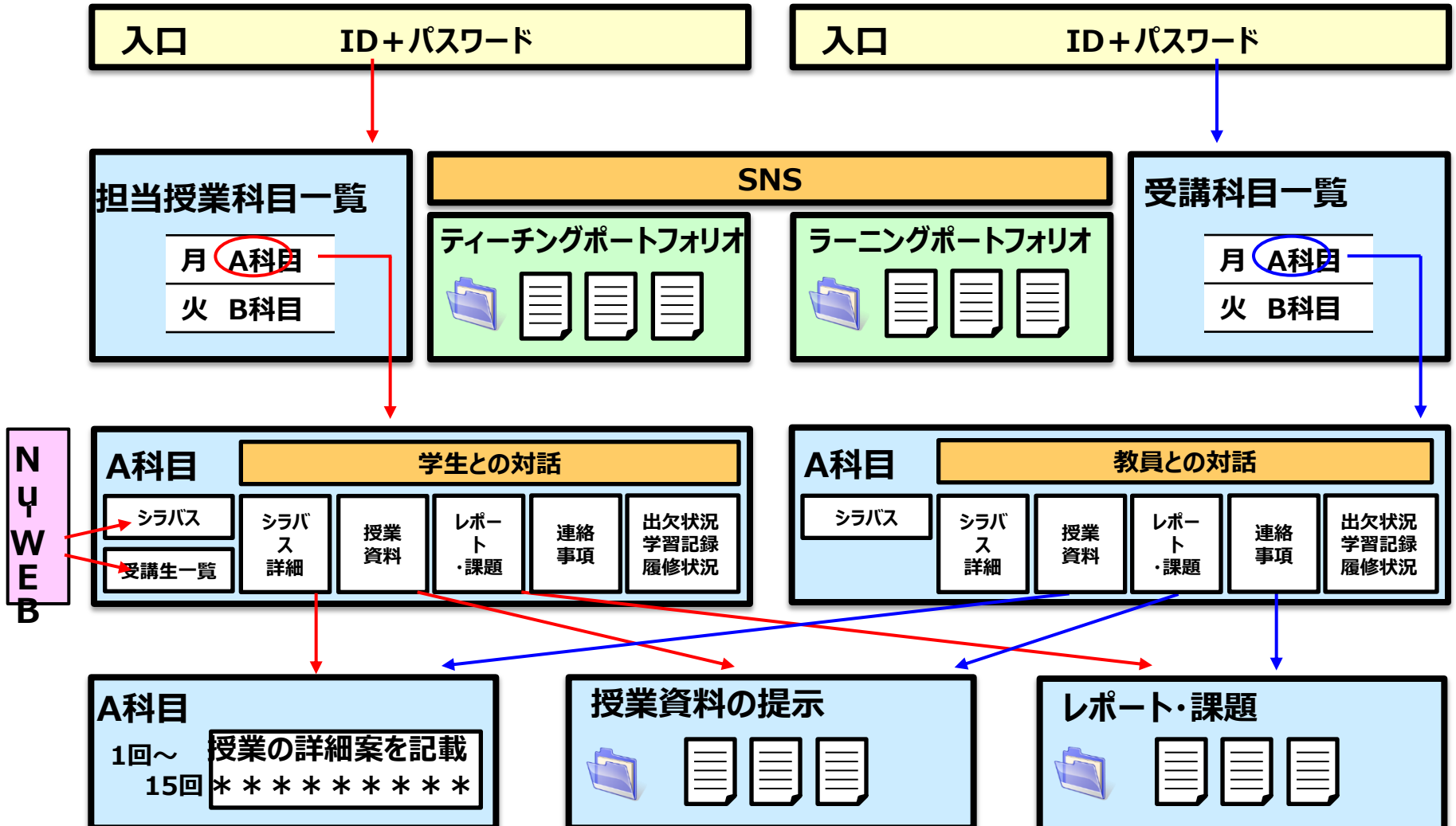
国際社会



## 画面構成図

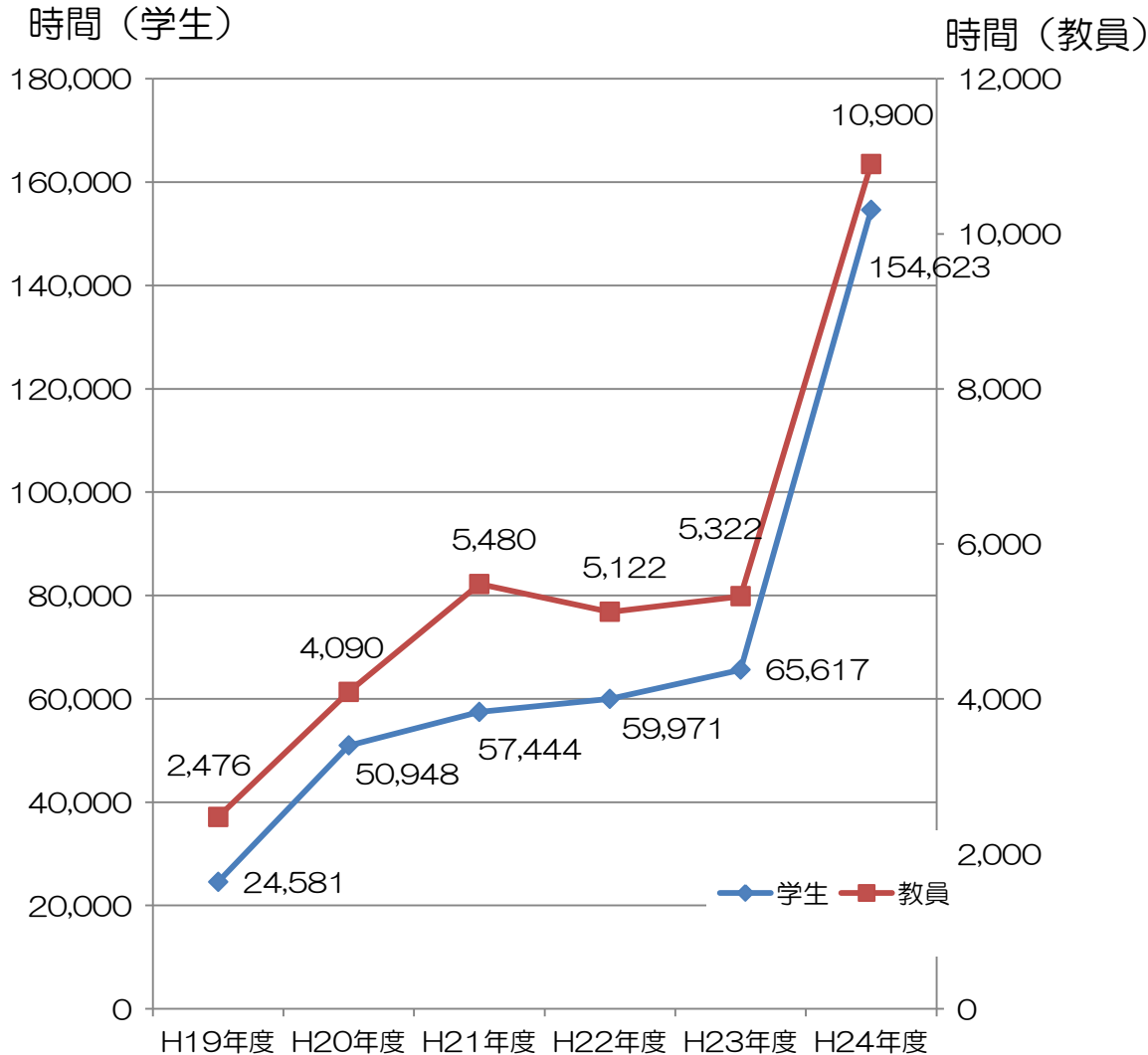
<教員>

<学生>



# 長崎大学の教養教育改革の成果

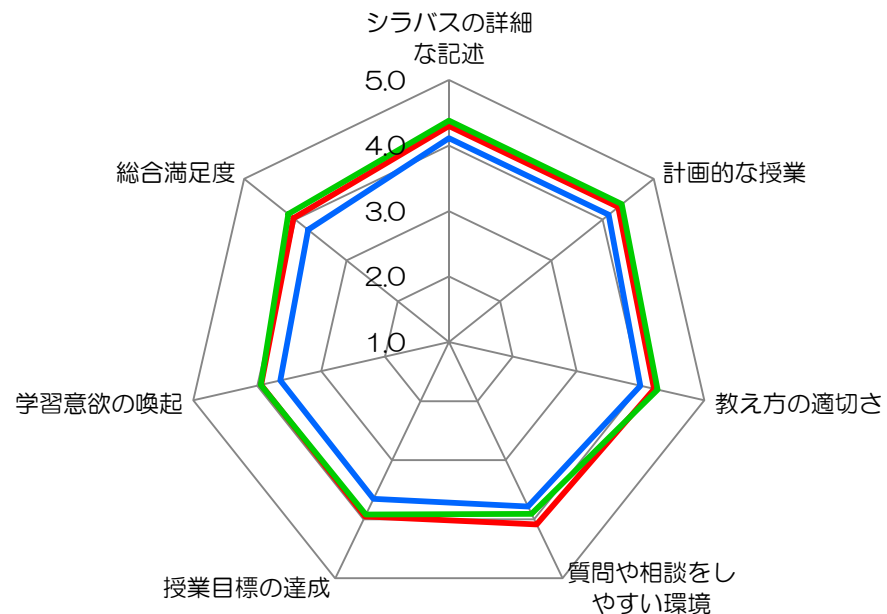
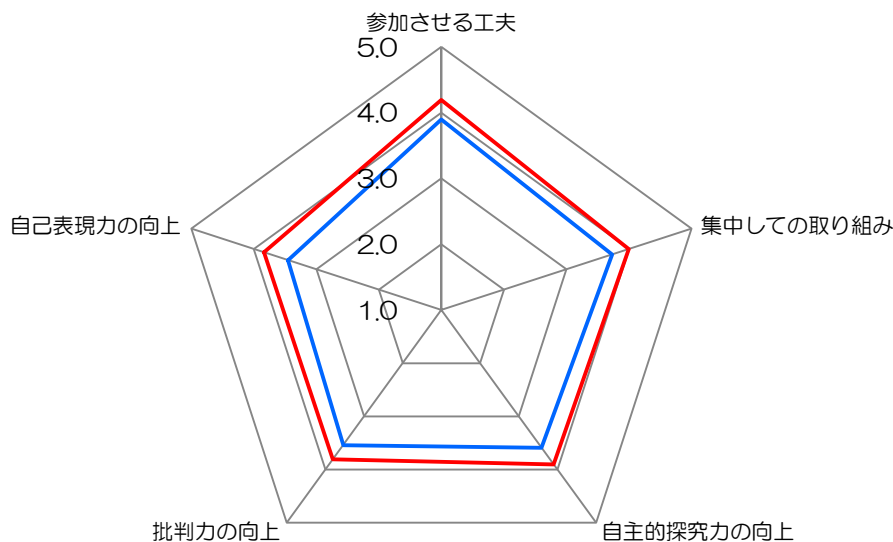
## eラーニングWebclassシステムログイン時間





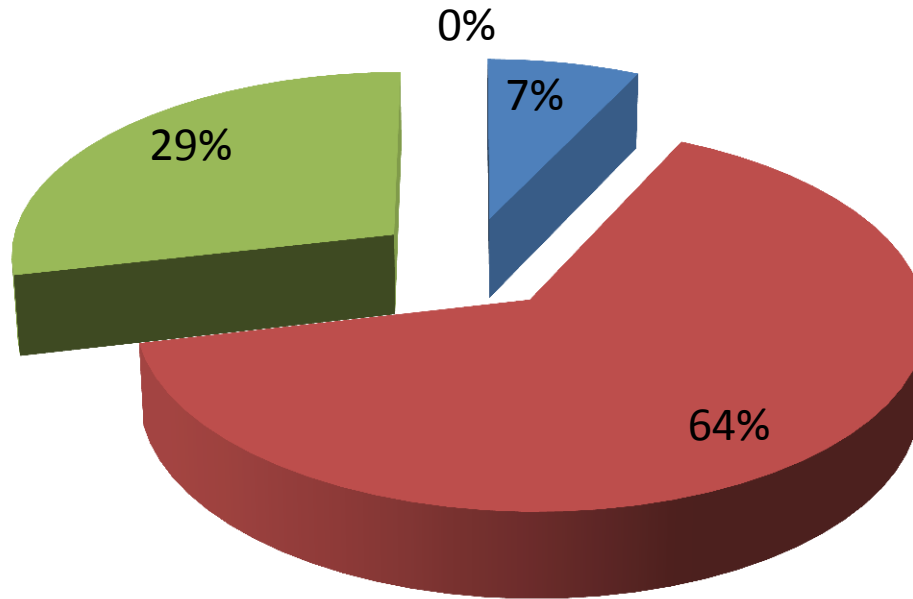
# 長崎大学の教養教育改革の成果

## 学生による授業評価結果



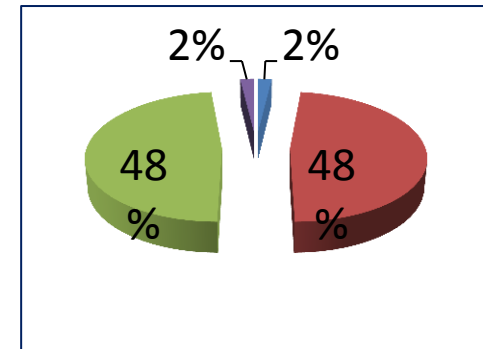
- H23全体 (44科目)
- H24後期 (62科目)
- H25前期 (67科目)

# アクティブラーニングについて (教員アンケート)



## 2013年度モジュールII

- 十分にうまくいった
- うまくいった
- 余りうまくいかなかった
- うまくいかなかった



## 2012年度モジュール I

## 多文化社会学部

“多文化の共生と協働が求められる現代世界において、存在感をもって政治・経済，文化，社会活動分野等で国際的に活躍できる人文社会系グローバル人材を，従来にない斬新かつ特色ある教育を通して先駆的に育成”

- (1) 総合大学の必須の要素としての人文社会学の系譜を構築
- (2) 長崎の歴史・文化・風土に根ざすグローカリティの付与：  
キーワードはオランダ、中国、アフリカ
- (3) **学士教育改革(グローバル人材育成)**のドライビング・フォース

# 多文化社会学部の教育の特色

- 多文化社会の包括的理解から出口における専門性(コース)へ
  - ・グローバル社会コース
  - ・社会動態コース
  - ・共生文化コース
  - ・オランダ特別コース
- 卓越した実践的英語力の達成(TOEFL iBT 100)
- 特色ある入試(英語力と批判的思考力)
- 1年次前期のTransition Program(准秋入学制)
- 海外留学の必修化
- 国際性に富む教員団と英語による授業
- 学びの質の転換(active learning)
- 学生を鍛える学修環境(コーチング・フェロー)

# 多文化社会学部の特徴ある入試

## 1. 前期日程: オランダ特別コース 10名、それ以外 70名

- センター試験(4教科4科目)300点

国語 50点、地歴・公民から1科目 25点、数学・理科から1科目 25点、  
外国語 200点

※ TOEFL PBT 500点 (iBT61点)以上, TOEIC650点以上又は英検準1級以上の者は, センター試験の**外国語の得点を満点**として採点する。

※**外国語の得点率80%以上**を必須要件として課す

- 個別学力検査 オランダ特別コース 360点、それ以外 300点  
外国語 100点、批判的・論理的思考力テスト 200点、  
面接(オランダ特別コースのみ) 60点

## 2. 後期日程: オランダ特別コース以外 20名

- センター試験(3教科3科目)300点

国語 50点、地歴・公民から1科目 50点、外国語 200点

※ TOEFL PBT500点 (iBT61点)以上, TOEIC650点以上又は英検準1級以上の者は, センター試験の**外国語の得点を満点**として採点する。

※**外国語の得点率85%以上**を必須要件として課す

- 個別学力検査 300点  
小論文 250点、面接 50点

# 平成26年度入試結果

①総志願者数 361名

TOEFL/TOEIC/英検等

英語資格試験利用者:11名

②入学者 99名

出身高校所在地:23都道府県

(長崎県20名)

男女比:28/71

→予想していた以上に、全国的な関心

# 大学教育改革に向けて

教職員の危機意識と意識変革  
～リスクを回避しない覚悟～

リスク・マネジメントとセイフティ・ネット

ロールモデル